

<経済>

「爆買クルーズツアー」へ潜入

10月1日から7日までの国慶節（建国記念）休暇期間中における中国人観光客数は5億9,300万人（うち海外旅行者600万人）、観光収入4,822億元と、前年から各々12.8%、14.4%の増加となりました。

我々駐在員の多くも、中国の暦どおりに休業となる企業が大半であることから、「旅行」や「一時帰国」を行う人が多いのですが、そこで頭を悩まされるのが、費用の問題です。中国国内旅行は勿論、海外旅行が一般化しつつある昨今では、国慶節期間中の海外航空券（中国発着便）

や人気の高い周辺諸国（日本・韓国・タイ等）の宿泊施設が高騰します。そのため、我々駐在員が同期間中に出国することは費用的に大きな負担がかかる状況となっています。

こうした中、私は「年間で最も高い時期にわざわざ旅行に行かなくても…」と自分自身に言い聞かせ、上海市内で息を潜める計画でしたが、今回は妻から「爆買クルーズツアー」へ参加の提案を受けました。日本のテレビで「4千人の中国人観光客を乗せた大型客船が〇〇港に寄港しました！お目当てはやはり爆買のようです。」等と報道されている、まさにあのツアーです。興味深いとは思いましたが、日本人がクルーズで日本へ行く、ということに違和感があり最初は否定的でしたが、詳しく調べていくと、「上海－韓国（済州島）－日本（福岡・宮崎）」の5泊6日で食事代は全て込み、寄港地観光もあり（もちろん免税店も…）、という内容で、同時期の「上海－羽田」の往復航空券よりも少し安い価格であったため、妻の両親も誘い、思い切って申し込みました。



<歓迎パレード（船内）>



<出航前（上海停泊中）のクルーズ船>

のツアーです。興味深いとは思いましたが、日本人がクルーズで日本へ行く、ということに違和感があり最初は否定的でしたが、詳しく調べていくと、「上海－韓国（済州島）－日本（福岡・宮崎）」の5泊6日で食事代は全て込み、寄港地観光もあり（もちろん免税店も…）、という内容で、同時期の「上海－羽田」の往復航空券よりも少し安い価格であったため、妻の両親も誘い、思い切って申し込みました。

以下、潜入レポートをお届けします。

<クルーズ船について>

船は上海市郊外（市中心部から車で 1 時間弱）にある港から出航します。港に到着するや否やまず驚かされるのが、まるでマンションのような巨大な船体と、乗船手続きを行うために大行列を成している乗客の多さです（約 4 千人）。船内設備や客室は、非常に清潔で快適そのもので、子連れの方や年配者でも安心して過ごせる空間となっていました。

幼児を連れての旅行であり多少不安もありましたが、中国人は子どもに対して非常に寛容であるため、相席になった知らない方が我が子に食事をさせるのを手伝ってくれたり、バスでぐずっている時には周囲の人達が遊び相手になってくれたりといったフォローもあり、安心して過ごすことができました。

外観	○全長約 300m、全幅約 50m、重量約 14 万 t。 ○港に停泊している姿はまるで巨大なマンションのように見える。
内装	○ゴージャスな装飾。エンターテインメント性のある高級ホテルの雰囲気。
客室	○ビジネスホテル並だが 2 名なら十分の広さ、ベランダ付の部屋が人気。 ○外出して部屋に戻ると毎回清掃されており、非常に清潔。
施設	○バイキングレストラン、カフェは早朝から深夜まで利用可（無料） ○レストラン、ジャグジー、屋外プール、パットゴルフコース、ロッククライミング、バスケットコート、ゲームセンター、カジノ、オペラハウス、アイススケート場、ジャズバー、カラオケ会場、ミニ教会、免税店等。
食事	○西洋料理中心。味は良好、但し火を使わない料理がメイン。 ○中華料理もあるが、本場とは少し味付けが異なる（料理人はインド人とフィリピン人が多い様子）。日本料理は本場とはかけ離れた味。
イベント	○歓迎パレードに始まり、連日各所で、オペラ、アイススケートショー、ジャズライブ、ピアノ弾き語り等が開催される。
乗客	○約 4 千人、99%が中国人。船内クルーに確認すると、今回日本人は私と子供の 2 人のみで、その他欧米人等が複数組乗船している、とのこと。 ○退職した 60 歳以上の年配者、小学生未満の子連れ家族が多い。
従業員	○欧米系企業が経営しており、従業員は多国籍（インド、フィリピンが最多、次いでその他東南アジア、東ヨーロッパ等。中国人も多数在籍）。 ○レストランのウェイターによると、給料は良いが激務のため若年層中心。 ・ 休日は、月に 1~2 日、朝 6 時始業の夜 9 時頃終業。一度乗船すると 7 ヶ月間下船できず、7 ヶ月後にまとめて 3 ヶ月間の休暇をもらう仕組み。 ・ 給料は、年次・等級により異なるが、ウェイター、客室清掃係等の 1 ヶ月の手取額は 20 万円~60 万円程度。
サービス	○基本的に、皆笑顔で親切な対応。

<寄港地において>

当初、韓国（済州島）と日本（福岡・宮崎）の2ヶ国寄港が予定されていましたが、台風の影響により日本行きは中止、急遽、韓国のみ（済州島・ソウル）に変更されました。

寄港地に到着すると、各旅行会社の手配する100台以上の大型バスが待ち構えており、乗客達は順番に乗り込みます。寄港地での滞在時間は6時間程度ですが、その間、観光地2ヶ所（庭園・故宮等）、免税店2ヶ所（贅沢品・生活用品）を駆け足で回られます。

なお、クルーズツアーの料金は、寄港地における契約免税店から旅行会社が受取るリベート込みで設定されているようで、下船（上陸）は半強制となっていました（下船しない場合は、別途300元の支払が必要）。そこで、添乗員の方に気になった点につき質問してみたところ、次のとおり正直に答えてくれました。

私：「免税店は2種類（贅沢品店と生活用品店）ありましたが、生活用品店の方は、免税とはいえ、価格自体が市場の1.5~2倍に設定されていた気がしますが…。」

添乗員：「そのとおりです。でも、中国国内で買うよりも安いのでみな買うのです。」

私：「こうした免税店経営者の多くは中国人で、売上の数パーセントを顧客紹介料として旅行会社に支払う契約になっていると聞きますが、本当ですか？」

添乗員：「よく知っていますね！そのとおりです。ほとんどのツアー客がこのことは知っていますし、みな普通のことだと思っていますよ。」

<まとめ>

当初あまり期待していませんでしたが、サービスは充実、想像以上の割安感もあり、多くの中国人客を魅了していることが理解できました。また、寄港地における消費行動を見ると、爆買いの勢いは依然堅調であり、景気減速から懸念されている消費意欲の減退は微塵も感じられませんでした。



<船内レストラン>



<買物後にバスを待つツアー客（免税店前）>

上海市内展示会情報（2016 年 11 月～12 月）

（※ 下記展示会は、予定が変更になる場合もございますのでご留意下さい。）

上海新国際博覧中心

アジア国際物流技術・運輸システム展示会	11 月 1 日～11 月 4 日
アジア国際動力伝導・制御技術展示会	11 月 1 日～11 月 4 日
上海国際圧縮機・設備展覧会	11 月 1 日～11 月 4 日
上海国際飲食設備展覧会	11 月 7 日～11 月 9 日
中国電子展覧会・中国国際半導体博覧会	11 月 8 日～11 月 10 日
中国国際旅行交易会	11 月 11 日～11 月 13 日
上海国際保温・防水材料・省エネ技術展覧会	11 月 13 日～11 月 15 日
2016 第 9 回アジア果物野菜産業博覧会	11 月 14 日～11 月 16 日
中国国際工程機械・建築機械・車両・設備博覧会	11 月 22 日～11 月 25 日
中国国際ゴム技術展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
上海国際地坪工業展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
上海国際モルタル技術・設備展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
第 4 回上海蒸発・結晶技術設備展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
2016 中国（上海）国際 LED 照明展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
2016 中国（上海）国際スマートハードウェア展覧会	12 月 1 日～12 月 3 日
2016 グローバル小売ブランド製品アジア展覧会	12 月 7 日～12 月 9 日
上海国際メディア技術設備博覧会	12 月 7 日～12 月 9 日
第 6 回アジアろ過・分離工業展覧会	12 月 7 日～12 月 9 日
上海国際サービスロボット技術・応用展覧会	12 月 8 日～12 月 10 日
2016 上海国際スマート産業・スマート製品博覧会	12 月 8 日～12 月 10 日
中国（上海）国際鑄造・ダイキャスト展覧会	12 月 8 日～12 月 10 日
中国国際自動車産業技術博覧会	12 月 8 日～12 月 10 日
上海国際自動車関連産業展覧会	12 月 8 日～12 月 10 日
2016 中国（上海）国際先進軌道交通技術展覧会	12 月 14 日～12 月 16 日
第 2 回上海国際酒・菓子商品交易会	12 月 15 日～12 月 17 日

上海世貿商城

2016 上海国際紙・フィルム加工印刷技術設備・材料博覧会	11 月 16 日～11 月 18 日
2016 服装・家庭用品博覧会	12 月 13 日～12 月 18 日

上海光大会展中心

2016 上海第 19 回金融サービス博覧会	11 月 21 日～11 月 23 日
2016 上海第 23 回投資・チェーン店加盟展覧会	11 月 21 日～11 月 23 日
2016 上海第 9 回海外不動産投資・移民・留学展覧会	11 月 21 日～11 月 23 日
2016 第 5 回上海畜肉・家禽展示会	12 月 2 日～12 月 4 日
2016 第 12 回上海有機食品・高級輸入食品飲料展覧会	12 月 4 日～12 月 6 日
2016 第 11 回上海優良米・雑穀・設備展覧会	12 月 4 日～12 月 6 日

上海世博展覧館

2016 (第二十回) 上海芸術博覧会	11 月 3 日～11 月 6 日
2016 中国国際水処理化学品・水溶性ポリマー・製紙化学品・工業表面活性剤技術・応用展覧会	11 月 3 日～11 月 4 日
2016 上海茶博覧会	11 月 3 日～11 月 6 日
第 25 回上海国際チェーン加盟展覧会	11 月 4 日～11 月 6 日
第 12 回上海国際消防保安技術設備展覧会	11 月 9 日～11 月 11 日
2016 第 8 回中国 (上海) 国際流体機械展覧会	11 月 10 日～11 月 12 日
長江デルタ地域中小企業投資交易会	11 月 17 日～11 月 19 日
第 4 回軍隊・市民科学技術融合促進大会	11 月 17 日～11 月 18 日
2016 上海国際手作り産業博覧会	11 月 25 日～11 月 27 日
2016 中国住宅内装博覧会	11 月 26 日～11 月 27 日
2016 上海国際商船展覧会	11 月 29 日～12 月 1 日
2016 中国 (国際) 調味料博覧会	11 月 30 日～12 月 2 日
INSIDE 3D 印刷産業博覧会	11 月 30 日～12 月 2 日
全国優良農産品 (上海) 交易会	12 月 4 日～12 月 6 日
中国ウェディング博覧会	12 月 10 日～12 月 11 日
上海国際建築装飾工程材料交易博覧会	12 月 14 日～12 月 16 日
2016 上海国際民宿文化産業博覧会	12 月 16 日～12 月 18 日

国家会展中心 (上海)

第 18 回中国国際航空産業博覧会	11 月 1 日～11 月 5 日
2016 上海国際ホテル設備・用品交易会	11 月 10 日～11 月 12 日
2016 上海国際ホテルチェーン加盟・特許経営展覧会	11 月 10 日～11 月 12 日
2016 上海国際スマートホテル展覧会	11 月 10 日～11 月 12 日
上海国際自動車部品・メンテナンス・検査・設備展覧会	11 月 30 日～12 月 3 日

★トピックスレポート（中国人スタッフ便り）★

ゴールデンウィーク（黄金周）の是非

中国ではゴールデンウィークのことを「黄金周（ホワンジンジョウ）」と言います。日本と大きく異なる点として、祝日の前後日等を休日として連休にする代わりに、翌週（或いは前週）の土日等に振替出勤させるといった施策がとられています。

同施策は、約 20 年前のアジア通貨危機に端を発した世界的な経済低迷を受けた景気刺激策の一環として行われたのが始まりのようです。その結果、中国人の旅行熱が高まり、景気の活性化に繋がったという効果が上がっています。

しかし一方で、不満の声も上がっています。私は、今年 10 月 1 日～7 日の国慶節休暇を利用し、兵馬俑で有名な陝西省西安市へ家族旅行に出掛けました。同地は中国を代表する観光地であるため混雑は百も承知でしたが、想像を遥かに超える状況で疲れ果て、最終日にようやく上海に戻ってきたと思えば列車駅は混乱状態、自宅に到着した頃には、兵馬俑を見ることができた感動など吹き飛んでいました。私達家族だけでなく、多くの中国人ができれば閑散期に旅行したいと思っているのです。

こうした状況から一部の専門家からは「ゴールデンウィーク廃止論」が出ています。国民の義務として一斉に休暇を取得させるのではなく、企業の有給休暇制度を整備することに注力すべきだ、という考え方です。一方で、「国民の義務としての休暇があるからこそ、（否が応でも）家族や友人と休暇の時間を共有することができる」という意見もあります。

いずれにしても、「休暇」の話が議論されるようになったことは、経済成長一辺倒で邁進してきた中国が、次のステージに進化しつつあることを感じさせられるものです。



＜今年は西安へ兵馬俑を見に行きました＞